

泉のほとり

・三位一休後第一十三主日



今月の詩編 「第七十六編」

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の

大いなることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。

今日は品川教会の教会記念日です。先ほど使徒信条で「聖なる公同の教会を信じる」という告白をしました。

聖書によれば、教会は神の教会であり、信徒たちは聖なる者たちです。しかし教会は人間の集まりですから問題が絶えません。聖書を読めば、教会のあらゆる問題が出て来ます。それでも神の教会、聖なる者たちなのです。それ故に教会は成長が求められます。それはキリストの姿に近づくことです。一人一人の成長も大切ですが、交わりとしての成長も大事です。立派な人も、そうでない人も、同じ信仰を持ち、互いを愛し配慮する交わりの中でキリストの体を形成していく。それが教会の成長です。

教会には、その教会独自の部分があります。わたししたちはキリスト品川教会です。「品川」を取り去つて、ただの「キリスト教会」にするわけにはいきません。一人一人に生まれ育つた国や文化があるように、教会にもそれがあるのです。

品川教会は一九三五年四月に佐伯寅牧師が五反田の借家で礼拝を始めたのが最初です。その教会は戦争中の空襲で焼けてしまい、戦後佐伯牧師は品川で礼拝を再開しました。ここに駐留していた米軍の好意で中の建物が借りられたのです。その当時から礼拝部、伝道部などの部

が作られ、教会員が奉仕して教会を支えました。

米軍が駐留をやめたとき、教会はこの土地を買い取る決心をしました。でもお金はありません。いろいろ考えてバザーすることにしました。必要な材料や機器などは

品川教会の原点

家から持つて来て準備をし、一九四九年七月に最初の

バザーを行つて三〇万円の収益を得ました。それは今

の土地を半分買えるお金でした。それで同じ年の一一月に二回目を行うことにしたのです。

このバザーは最初のものより大変でした。いろいろ

な事情で奉仕者が少なかつたのです。その上バザー前

は雨が続きました。その中で準備をし、当日を迎えて

も雨は一向に止みません。ところが開始時間近くなつ

て雨が上がりました。皆一斉にお店を用意して、バザー

を始めました。一二月二六日の土曜日のことです。翌

日の日曜日は朝早く教会学校と一緒に礼拝をして、その後バザーをしました。そしてすべてを終えて片付け

をしていたときに、また雨が降り出したのです。その

雨は数日間続きました。

神さまが昔、海を分けてイスラエルを奴隸から解放されたように、二日間雨を止めて、不安や恐れ、不信の奴隸だった教会を解放してくださったのでした。

この時も三〇万円の収益を得て土地を買うことができたのですが、大事なことは、品川教会が神の教会であることを、神さまが示してくださったことでした。この体験が品川教会を真実に神を信じる教会としたのです。

これからどのような困難や問題がわたしたちを悩ませるかわかりません。でも品川教会は神の教会です。

そのことを忘れずに、一緒にそれらと取り組んで行きましょう。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

○礼拝後、クリスマス装飾の飾り付けを行います。

一月三〇日に、手仕事の会オリーブがクリスマスグッズの販売をいたします。昨年からバージョンアップしたハウス類、小物各種を揃えています。プレゼントにも最適ですので、ぜひおいでください。

場所：二Fロビー

時間：九時五〇分～一〇時二〇分

（今回は、キッチンの事情により、ケーキは扱いません）

『ぶどうの会より』

本日、ぶどうの会はお休みです。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互に成長する教会

『祈りの会より』

祈りの会を開きますので、皆さんご参加ください。一二時二〇分開始予定、場所は第二・三シオ
ンルームです。

『手仕事の会 オリーブより』

『文 読 詩 篇』

※会衆は太字の箇所を唱和します。

(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇七十六篇】 指揮者によつて。

伴奏付き。賛歌。

アサフの詩。歌。

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の大いなることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。

そこにおいて、神は弓と火の矢を碎き

盾と剣を、そして戦いを碎かれる。

あなたが、餌食の山々から

光を放つて力強く立たれるとき

勇敢な者も狂氣のうちに眠り

戦士も手の力を振るいえなくなる。

ヤコブの神よ、あなたが叱咤されると

戦車も馬も深い眠りに陥る。

あなたこそ、あなたこそ恐るべき方。

怒りを発せられるとき、

誰が御前に立ちえよう。

あなたは天から裁きを告知し

地は畏れて鎮まる

神は裁きを行つたために立ち上がり

地の貧しい人をすべて救われる。

怒り猛る者もあなたを認める

あなたが激しい怒りの名残を

帝とされるとき。

あなたたちの神、主に誓いを立て、

それを果たせ

取り囮むすべての民は

恐るべき方に賣ぎ物をもたらすがよい。

(司・会)

地の王たちの畏れる方は

支配者の靈をも断たれるであろう。

『今日の子ども礼拝』

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「元気を出しなさい」

聖書 使徒27章13～26節

説教者 宮間彰広兄

『次週の礼拝』

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「万軍の主の熱意が」

聖書 イザヤ9章1～6節

説教者 吉村和雄名誉牧師

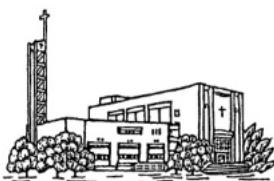
●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 95番

説教 「聖書は救いに導く知恵を」

聖書 ニテモテ3章10～17節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 502番 293番

説教 「正しい人の祈りは」

聖書 ヤコブ5章12~20節(新約 P.426)

司式 石川一兄

聖餐司式 黄允湜 牧師

説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」 J.S.バッハ

○讃美歌502番

1.いともかしこし イエスの恵み
つみに死にたる 身をも活かす
主よりたまわる あめの糧に
飢えしころも 飽き足らいぬ ※
※(くりかえし)

世にあるかぎり きみのさかえと
いつくしみとを かたりつたえん

2.すくいのめぐみ 告ぐるわれは
たのしみあふれ うたとぞなる
ほろびをいでし このよろこび
あまねくひとに えさせまほし ※

3.くすしきめぐみ あまねく満ち
あるに甲斐なき われをも召し
あまつ世嗣となしたまえば
たれか洩るべき 主のすくいに ※

アーメン

○讃美歌293番

1.知恵とちからのもとなる神よ
にぶくかよわき このしもべにも
かみのちからと ちえとを賜え

2.地には住めども 神の子なれば
この世のことに 愚かなりとも
父のことには さとからまほし

3.なやめるときも よろこぶ時も
ひとしく神のめぐみを思い
みいつくしみを いかでか忘れん

4.したしき友は 離れざるとも
うからやからは よし疎むとも
まことの父の 愛ははなれじ

アーメン

聖餐曲「悩む者よ、とく立ちて」 D.ウット

後奏曲「主をほめよ我が心、いまわの時まで」

S.カルク=エラート